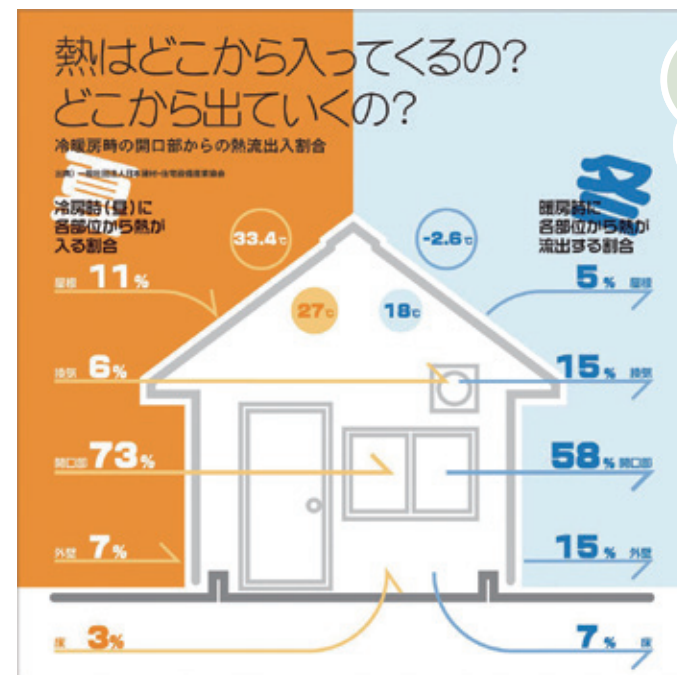


省エネ住宅のうわさの真相

うち、エアコンでは寒いで
ストーブ派なんやけど？

日本の家の断熱性能は“世界最低レベル”!?

40年以上前に建てられた住宅は断熱性・気密性が低いため、ストーブやファンヒーターを使ってやっと温かさを感じることが多いと思います。ストーブは二酸化炭素(CO₂)だけでなく一酸化炭素(CO)も発生させます。実は日本の家屋の断熱性は“世界最低レベル”といわれており、エアコンだけではなかなか暖まりにくいのです。現在、国や県では住宅の断熱基準が見直されており、省エネ住宅や断熱リフォームに対する様々な補助制度もあります。断熱性が高まればエアコンで快適な室温を保つことができ、CO₂もCOも減らせる健康的な生活がおくれますね。まずはリビングや寝室など長い時間を過ごす部屋をリフォームするのもよい方法です。



開口部の断熱が
冷暖房費節約の
ポイント!

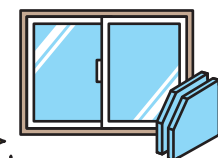
みんなができる!

脱炭素
アクション

断熱リフォームをしよう

●断熱性能の高い窓ガラスやサッシへの交換など

節約額 94,475 (円/年) CO₂削減量 1,130.7 (kg-CO₂/戸)



国の最大200万円の補助を
活用し、お得に断熱窓へ
リフォーム!



詳細情報は
こちら

年寄りばかりの家やで
今からリフォームなんかせんわ

省エネリフォームは高齢の方の健康を守ることに つながります

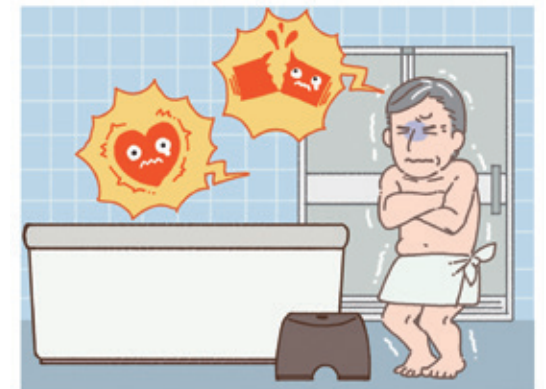
子どもたちが巣立ったあと、これからの住まいにお金をかけることに躊躇される方も多いと思います。しかし、冬は急激な温度変化によって起こる「ヒートショック」が原因とみられる入浴中の事故が増える傾向にあります。亡くなった人の数は、交通事故の3倍ほどというデータもあります。

ヒートショックで倒れた場合、10人のうち1人は死亡、9人は助かりますが、そのうち8名は、何らかの介護が必要になると言われています。高齢の方の健康を守ることはその介護をする世代にもかかわってきます。脱衣所、トイレ、廊下など夜中に起きて移動する場所も、リフォームしてはいかがでしょうか。

バリアフリー工事なども
一緒にやると、より安全に
過ごせるね!

ヒートショック対策 7つのポイント

- ①事前に浴室・脱衣所を温めておく。
- ②食後・飲酒後・医薬品服用後の入浴を避ける。
- ③同居家族がいる場合は入る前に一声かける。
- ④かけ湯をしてから入り、お湯につかるのは10分以内。お湯は41度以下に。
- ⑤入浴前に水分をとる。
- ⑥おうちの断熱性能を高める。
- ⑦トイレ・廊下を温める。



市の取り組み

暮らし住まいづくり支援事業補助金

中古住宅を購入する方や、新たに3世帯以上で同居を始める方等にリフォーム費用等を補助します。※詳しい要件がありますのでホームページなどで確認してください。
問合せ先: 交通住宅まちづくり課



市の取り組み

省エネルギー 診断料補助金

中小企業や個人事業主に、省エネ診断にかかる費用を補助します!
問合せ先: 環境・水循環課

